

# 54キロ 徒歩修行の旅

「じよっぱりロード」スタート

五所川原  
青年会議所 子どもら50人参加

五所川原青年会議所 催の「じよっぱりロード」  
(坂本興平理事長) 主 2018 OMOI



力強く宣誓する時田さん(中央左)と長島さん(同右)

「YARIへの旅」が26日に始まった。子どもたちが3泊4日で、岩木山登山を含む全54キロの徒歩修行の旅をする。

自分の力で歩き抜き、仲間と励まし合いながら思いやりの大切さを学んでもらおうと行われており、今年で10回目。西北地区の小・中・高4～6年生と高校生以上のボランティアスタッフ合計約50人が参加した。

今回は弘前市の高長根レクリエーションの森を出発地点に、鱈ヶ

沢町やつがる市を經由してゴールの五所川原市中央公民館へ向かう道のりで、2日目には岩木山に登る。

五所川原市民学習情報センターで行われた出発式で、坂本理事長が「仲間と声を掛け合いながら、楽しい思い出をつくりましょう」とあいさつ。児童代表の長島可怜(市浦小6年)さんとボランティア代表の時田大智さん(東北職業能力開発大 学校附属青森職業能力開発短期大学校2年)が「この旅を通して思いやりの心を学び、笑顔で最後まで歩き抜く」と宣誓した。

この後、「やればで

きる!」といった「じよっぱりコール」で士気を高め、見送りに来た両親の励ましを受けながらバスで出発

(松田基継)

地点へ移動し、54キロの旅へ向かった。ゴールは29日午後4時の予定。

※この画像(記事)は、陸奥新報社提供です。無断転載はできません。